

脾頭十二指腸切除術後の脾空腸吻合に関する

後ろ向き研究の実施について（お知らせ）

当院では、下記の通り、脾頭十二指腸切除術後の脾空腸吻合に関する臨床研究を実施いたします。

研究課題名：

「脾頭十二指腸切除術における PANC-LOOP を用いた脾空腸吻合と従来 Blumgart 変法の比較検討」

研究の目的：

当院で手術を受けられた患者さんの診療情報を用いて、脾空腸吻合の方法と脾液漏などの術後合併症との関係を検討し、今後の手術成績の向上に役立てることを目的としています。

研究の方法：

2016 年 1 月～2025 年 12 月の間に、当院で脾頭十二指腸切除術を受けられた患者さんの診療録、手術記録、検査データ（ドレーンアミラーゼ値など）を後ろ向きに調査します。本研究のために新たな検査や治療が追加で行われることはありません。

利用する情報：

年齢、性別、病名、手術内容、脾の硬さや脾管径、術中出血量、ドレーンアミラーゼ値、脾液漏の有無、術後合併症、在院日数などの情報を利用します。

解析にあたっては、お名前や住所など直接個人を特定できる情報は匿名化し、第三者に個人が特定されることはありません。

研究への参加を希望されない場合：

本研究にご自身の診療情報を利用してほしくない場合は、下記の担当医までお申し出ください。その場合でも、今後の診療に一切不利益が生じることはありません。

研究代表者：

前田 一也（外科・がん医療センター 特任医長）

連絡先：

福井県立病院倫理委員会事務局

TEL：0776-54-5151

本研究は、福井県立病院 倫理審査委員会の承認を受けて実施しています。

掲示日 :2026年1月23日